

[議会報告会～ぎかいタウンミーティング]

常任委員会	ぎかいタウンミーティングでの主な意見・要望等
<p>《総務委員会》</p>	<p>◆5月 8日開催：テーマ「市民総参加のまちづくり」                  ◆5月17日開催：テーマ設定なし                  【地域でのまちづくり】                  ○市民総参加を前面に出さないでほしい。言葉に躍らされる。現実を見てほしい。市の政策は21区におんぶしている。高齢化社会で役をやりたくない、隣組長もできない、区を抜きたいという人がいる。区に必ず入らなくてもいいと市から返答あったが、今後このような事例が増えるのではないか。回覧板を配ること自体限界の集落が出ている。そういう現実を議員は知るべきである。                  ○地域に参加するきっかけとしては、役員を受ける機会が参加意識の高まりにつながっている。役員をやめてしまうと参加意識が低くなってしまう。65歳を過ぎても働いている人が多いため、60歳の役員確保は難しい。                  ○いきいきデイで援助員を育てたいが苦労がある。見守り隊の人材減少など課題。                  ○ボランティアをやってくださる人が減っている。まちづくりを支えていく人がいなくなってしまう。                  ○福祉人材の確保が課題。地域で支えるためにボランティア的人材を広めようとしている。(買い物など)                  ○消防団員の確保が難しい。操法大会の早朝練習の負担も大きい。                  ○いきいきデイで生糸を利用した土産品を作るとはどうかと考えている。                  ○魅力あるまちづくりのために、故郷のよさを実感できるような活性化できないか。花岡区は豪雨災害の後のぼんおどりを、企業や団体の協力を得て若い人たちも参加し150人集まった。真剣に取り組めば岡谷でもできる。                  ○男女参画の視点から、女性の活動の場が増えてきているが、地域差や岡谷の体質からか上に立ちたがらない雰囲気があるのではないか。                  【人口減少対策】                  ○人口の規模にあったまちづくりを目指すのか。人口減少の対応をどうしていくか真剣に考えてほしい。                  ○市はまち・ひと・しごと創生のプロジェクトを行っているが、市民に理解されているのか。地域活動での活動がまちづくりに生かされているのかわからない。何をすればまちづくりなのか市民にはわからない。人口増のために議員はどう考え何をやったのか見えてこない。                  ○住み続けたいまち、戻って来られるまち、働く場所などをしっかり今後考えていくことがまちづくりにつなげていく大事なポイントである。                  ○地域でせっかく育てた子供たちが帰ってこない。働く場所がない。子どもたちは地域で育てるもの。その子どもたちが次の担い手として、まちづくりに参加してもらうにもかかわらず戻ってこない。もっと真剣に議員一同やれとの厳しい意見があった。                  ○とりわけ若い人にとって魅力のあるまちになってほしい。本日の会合にもっと多く参加してくれたらと思った。                  ○人口減が進むと、少子高齢化の問題がより深刻になるし、公共施設220施設40億円投じられている。コンパクトなまちづくり、財政面、職員の数など真剣に考えていかない。                  ○人口減少の対応について、小中学校や高校の再編問題がある。議会でもリアルな議論をしてほしい。                  【市町村合併】                  ○市町村合併についても考えるべきではないか。議員も真剣に議論すべきだ。賛成・反対あるが、合併するのであればメリットやビジョンについて議論をすべきである。                  ○合併して新たな施設が建設されるだけでもだめ。前回の合併議論を踏まえて真剣に議論してほしい。                  【その他】                  ○産婦人科医をなぜ連れてこられないのか。                  ○次世代の担い手を育てるために やる・みる・支えるといことで、支える教育について、もっと真剣にやり方について考えてほしい。                  ○子ども食堂を、なぜ岡谷でできないのか。行政と地域活動をしている人との壁を感じている。壁を取り払うような努力をしてほしい。                  ○若い人で結婚しない人が増えている。出会いの場の確保を真剣に考えていったらどうか。昔はおせっかいが当たり前だったが、昔のようには進まない難しい問題である。                  ○防災訓練を地域の中学生も参加できるような形でより実践的にしてほしい。                  ★前向きな意見のほか、議員に対する厳しいご意見もいただいた。参考にして、今後の議員活動につなげてまいりたい。</p>

《社会委員会》

◆5月8日開催：テーマ「高齢者福祉について」

- 各区の行事で高齢者に対して弁当を出しているが、弁当代は無料となっている。高齢者福祉ということであるが、たとえ100円でもいただいて、岡谷市の将来を背負っていく子どもたちの支援にお金を使えるよう切り替えてほしいと思う。
- 要介護3以上でない施設に入れないことについて再検討をお願いしたい。
- 認知症の方は入院できないと言われたが、入院ができるよう検討いただきたいと思う。
- 障害福祉サービスを受けている障がい者は、65歳になると介護保険サービスに移行となる。今までのサービスを受けられないことがあるので考えてほしい。
- 高齢者クラブで活動しているが、スタートした当時は高齢者を大事にしなければいけないことであったが、今日の段階では、各地域とも財政的に緊迫してきている。地域の財政状況によって違うと思うが、画一的にやる方がいいのか疑問を持っている。
- 裕福の家もあれば食物に困る家もあり、地域の中でそれを色分けすれば公平・不公平が生じるので、十分地域の中で検討してもらいたいと思う。
- 岡谷市は高齢化率が33%を超えている中で、国からは介護を中心とした地域包括システムを地方自治体を通じ各区へおろしてきている。市の人口も4万8千人を下り、少子高齢化の中で、地域に介護などをお任せする地域包括システムが実際できるのか。
- 高齢者の皆さんは医療や介護など様々な面で不安を感じていると思うが、これに対して議会ではどう議論し取り組みをしているのか。高齢化率が進行している現状の中で、行政、議会でも真剣に検討してもらいたい。
- 高齢や独居だからといって画一的に決める時代は限界にきている。本当に困っている人たちに支援していくよう変えていかないといけないと思う。
- 2025年問題を考えると、とても今の状態ではやっていけない。区によってその支援は多少違っててもやむを得ないので、そういう精神で進めていかないといけないと思う。
- 障害者福祉法にあるサービスで介護保険法にないサービスがある。地域に住んでいる人は何が困っているのかを細めに調査して、それに対するサービスをしてほしいと思う。
- 市に財政力がないと市町村で福祉サービスに格差が生じてしまう。全国どこに住んでいても同じでなければいけないと思うので、本当に必要な支援はしていくべきである。
- 私の住民票は東京であるが、生まれは岡谷市である。いずれは岡谷市に戻ってこようとしていたが、市の財政や地域のことを考えると、車の運転がまずできなくなったら、ここで独りで暮らすことは難しいと気がつき、どうしたらよいかと非常に悩んでいる。岡谷市を次の住み家とするのか、ある程度交通の便のよい東京とするのか、本当に真剣に考えている。
- 年金の支給額は思った以上に少ないので、これからの人のことも踏まえ、抜本的に考えていただきたい。
- 市の財政が厳しいという話を聞くと言葉がない。
- 間下区の高齢者クラブの会員は100人いる。役員が7人（男性5人女性2人）いるが、運転免許を持っている人は3人しかいない。諏訪湖ハイツでの例会に行くのにバスに乗れなかった人は、役員が自分の車で乗せてきているが、市で21区をまわってもらうことかできないかと思う。
- 岡谷市の予算が約200億円の中で、民生費がここ4年間で30%～35%に上がっている。この現状を、議員の皆さんが今どんな状況かを丁寧に市民へ説明していただきたいと思う。
- これまで区では社会福祉協議会、民生委員、老人クラブなどで福祉を行ってきたが、要介護、要支援1・2について、急に地域へ福祉をもってこられても正直、区ではお金も体制もなく対応が難しい。
- 当然福祉はやらなくてはならないが、議員さんには介護保険の状況とか、市の予算を十分見て、市民に対して実際問題を伝えていただき、地域福祉はどういうことができるかを一緒に考えていくことが急務であると思う。
- 市では地域の福祉活動について、それぞれの状況を把握するための情報交換等を行っているのか。市は地区の福祉活動の全体的な流れを把握し、今後の取り組み方法、進め方についてアドバイスをいただければと思う。
- 運転免許証を返納したので、諏訪湖ハイツまで歩いているが、路側帯に土が盛り上がり草が生えているため、線上を歩いてくるしかない。歩行者と自転車がすれ違った時に、車は大きくセンターラインをはみ出したり、また、大型トラックの場合、路側帯がないので避けられず非常に危険な状態である。議員さんには実際に歩いてもらって確認していただきたい。
- 車を運転している人は気がつかないと思うが、実際に運転免許証を返納し歩いていると湖畔通りに危険な箇所がいくつもあるので、市に対応してもらえたらありがたい。

	<p>◆5月17日開催：「テーマ設定なし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○岡谷病院になぜ子どもを産む場所がないのか。議員さんはなぜ医師を呼んでこれるように提案しないのか。岡谷市の発展のために産科は必要と思わないのか。産科がないと岡谷市を離れてしまう人もいる中で、岡谷市でないと住めない人もいるので何とかしてほしいと思う。</li> <li>○合併について、議員の皆さんは賛成なのか反対なのか、また合併のメリット、デメリットがわからないので教えてもらいたい。</li> <li>○6市町村の人口は減少している。湖周の自治体だけでも合併し、活気が出てきたところで、茅野市などを引き連れたらどうか。</li> <li>○6市町村合併の場合、首長をはじめ職員も減ることで、人件費分を他へまわせるなど、素人目ではメリットと考える。</li> <li>○道路等に不具合のある箇所については、市民がスマートフォンなどを使って写真を撮り、それを市へ送るシステムが早期にできればよいと思う。</li> <li>○道路から一步入るとごみの山になっている家がある。道端に出てくるので区で単管をうって対応している。子どもも通る所なので衛生的に良くないということで問題になっている。</li> <li>○ごみや空家などは行政が動かないと解決できないので、条例などでルールができればよいと思う。(ポイ捨て条例等)</li> <li>○土木陳情については、毎年継続していると改修される箇所もあるが、ネックになっているのは市に予算がないということで、なかなか進まない。</li> </ul>
<p>《産業建設委員会》</p>	<p>◆5月8日開催：テーマ「交通」「買物」「公園」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県道下諏訪辰野線の拡幅整備の進捗について←歩道の安全確保の面からも早くして欲しい。</li> <li>○公共トイレの改修、洋式加の要望について→釜口水門の湖畔公園のトイレの異臭改善等をサイクリングロード整備に絡めてお願いしたい。</li> <li>○シルキーバスやスワンバスの本数を増やしてほしい。(特に夕方以降)</li> <li>○県道岡谷茅野線から住宅地に右折がしにくく、スピード事故も多いため、信号機(反応式)の設置を要望する。(湊地区、市へ陳情中)</li> <li>○西堀新道の交通量が多く危険なため、小井川小児童など歩行者の安全確保のためにも、片側の路側帯を広げて欲しい。</li> <li>○シルキーバスについて、料金の値下げ(150→100円くらい)を検討してほしい。また、もっとPRすれば利用者も増えるはず。高齢者がもっと利用しやすいように、バス停にベンチや屋根があってもいいのでは。</li> <li>○シルキーバスを利用した買物(おかポンカードの共用)を推進してほしい。バスの段差解消や小型化はできないか。将来的に高齢者の買物難民を無くすためにも、シルキーバスは継続してほしい。</li> <li>○高齢者にとってレイクウォークは広すぎな面もあるので、近所の地域に小型商店(簡単に買い物できる高齢者用店舗みたいなもの)が欲しい。</li> <li>○湖畔公園など整備がすすんでいて良いが、ちょっと座りたいベンチみたいなものが少ない。塚間川沿いのベンチのような休めるイスを増やしてほしい。人にやさしい公園作りをお願いできないか。</li> <li>○公園の管理について、市と地域のすみ分けについて、高齢化が進んでいる地域や人が少ない地域では大変であるため、全市的に取り組んでほしい。</li> <li>○公園トイレの洋式化を早く進めて欲しい。</li> </ul> <p>◆5月17日開催：「テーマ設定なし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○合併問題に関して議員の皆さんはそれぞれどのような意識でいるのか聞かせて欲しい。</li> <li>○4月の種子法廃止を受け今まで国が守ってくれた日本の食糧の種子がこれからどうなるのか心配である。国が守らなくなったら、地域の種子に変わり大企業の種子がどんどん入ってくるので、種子の地域性が無くなり、アレルギーを持つ子供の家庭の食生活にも関わってくる問題である。「種子を守る会」というのがあり、これに関心を持ってほしい。</li> <li>○下諏訪辰野線の拡幅について進展を感じないのでどうなっているのか聞かせて欲しい。</li> <li>○土木陳情はどれくらいあって、そのうちどれくらいが工事されているのか。</li> <li>○岡谷市に足りないものとして、工業従事者が平成に入ってから四半世紀で半減していることが、大問題である。若くて働ける人口がどんどん減っているため、産業振興としては1にも2にも雇用創出が第1である。住宅、テナントを整備促進して魅力的なものにすべき。ララ岡谷を働く人の受け皿としてコールセンターや情報通信センターのように使っていけばいい。岡谷市にお金が落ちる仕組みを考えるべき。アマゾンのようなインターネット通販のようなものも、あればいいのでは。雇用に関する状況を地元出身の学生にもっと発信してほしい。</li> <li>○シルキーバスの利用率が少ないことへの対策として、住民の意識や風潮を変えていく方策を考えていくべきでは。</li> <li>○行政視察先として、合併して大きくなった市が災害時の対応としてどうだったかを視察してきたらどうか。</li> <li>○合併したときのメリットとデメリットをわかりやすく市民に示してほしい。</li> <li>○議員をこれまでやってきて、手応えや市民に対して感じたことを聞かせて欲しい。</li> </ul>

《議会全般》

◆議会全体に係ること

- 会派での代表質問を取り入れて、よりわかりやすい議論をしてほしい。
- 一般質問で同じような質問が多いので調整をしたらどうか。
- 議会だよりについて、字をもっと大きくし、みんなに読んでもらえるような紙面にしてほしい。市の広報に綴じこんだらどうか。
- 行政視察について、市政のどんなところに活かされたのかわかるように報告してほしい。
- 行政視察は人口増などの取り組みをしている場所に行ってほしい。
- 市の財政が厳しい中で、議会の経費削減についてどのように取り組もうとしているのか。議員定数や議員報酬なども含めて、どのように考えているのか検討していただきたいと思う。
- ぎかいタウンミーティングは、周りの声が入って話がよく聞こえなかったので、今後は会議室で行ってほしい。
- 新聞に議会中の一般質問が出ているが、やり取りの中で、議員さんが質問をして答弁をもらいそれで終わっている。新聞に出る内容しか見ていないので、議員さんがどれだけ突っ込んで質問をしているのかわからない。
- 一般質問の行政側の答弁に対して、行政側はしっかり研究をしての答弁なのか、その辺を突っ込んで質問してもらおうと、議員さんへ負託したものが通じていると実感できる。
- 一般質問では、市民から聞いたことや研修に行ったらこうだったということを盛り込むことで一般質問の質が上がると思う。
- 議員さんが視察へ行って、それをどう行政に活かそうとしているのか。学んできたことを行政にしっかり伝えていくことで完結すると思う。